



2026年 新年 子 ものづくり通信

第181号

大阪府ものづくり振興協会

大阪市中央区本町橋2番5号マイドームおおさか6階

電話・06-4792-7849



2026年 年頭所感

会長 野村 重之



2026年の新春を迎え、謹んでお慶びを申し上げます。

旧年中は大阪府ものづくり振興協会の運営に際し、格段のご支援ご指導を賜り衷心より厚くお礼を申し上げます。

現在国内外の様々な問題に直面しており、国際情勢の不安定化、原材料価格の高騰、エネルギーコストの上昇、そして国内では少子高齢化に伴う人手不足など、挙げればきりがありません。直面する課題を乗り越えるためにはDXの推進が不可欠で、生産性向上、品質安定化、コスト削減も繋がるデジタル技術を積極的に取り入れ、またAIやIoTといった先端技術による価値創造の可能性を秘めています。人材育成の確保は云うまでもなく大きな課題で、熟練技能者の高齢化が進む中、若手技術者の育成と確保は業界全体の維持と発展には必要不可欠です。魅力ある職場環境の整備、OJTやOff-JTを通じた技術継承、また多様な人材が活躍できる柔軟な働き方改革の導入が求められ、慢性的な労働力不足も重なり、昨年は依然経営環境の厳しい1年となりました。

昨年4月13日から繰り広げられた大阪・関西万博も184日の10月13日で祭典の灯火が消え、一抹の寂しさを覚えています。開催テーマであります「いのち輝く未来社会のデザイン」には、「人々が自ら望む生き方を考え、その可能性を最大限に発揮できる社会を世界と共創する」という理念が込められています。特に半年間の会期中に約150の国と地域が参加し、各国パビリオンでは文化や技術を披露するだけでなく、ビジネス交流の場も設けられました。

会場内では次世代モビリティ（自動運転や空飛ぶクルマ）の実証、キャッシュレス決済、生体認証、多言語翻訳システムなど「未来社会の実験場」としての取り組みも数多く実施されました。当協会会員企業もギャラリーWESTで開催された『大阪ものづくり おもしろミライ展』に出展し、ものづくり企業の技術の強みを活かし、色々な体験コーナーを開催、SNSでも大反響で、初日から最終日まで長蛇の列ができました。中小企業の魅力をアピールできたことは我々協会に取りましてもPR事業に向上に大きく貢献できたものと確信します。1970年の大阪万博の時は私も中学生で何度か祭典に行った記憶があります。開門と同時に来場者が目当てのパビリオンに一目散に走り出す光景は、1970年の大阪万博と何ら変わりません。「リアルな体験」を求める人間の姿は時を経ても不変だとあらためて感じました。

大阪・関西万博の経済効果が3兆円を突破すると予測され、会期後半に来場者の消費支出が大幅に増え、開幕前の想定を約3千億円上回り、来場者が会場以外も周遊すれば効果がさらに上振れするとみていましたが広域観光は伸び悩み課題を残しました。

今後の課題としては、高齢人材の労働力を活かす仕組みづくりであり、関西は高齢者の労働力人口比率が全国平均を下回っている一方、潜在的に就業可能な高齢者も存在しており、人手不足の緩和に向け高齢者の就労を後押しする仕組みを整えていくことが重要です。

2026年が皆様方にとりまして、さらなる飛躍の年になりますよう祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。





2026年 年頭所感 近畿経済産業局長 信谷 和重



令和8年の新春を迎え、謹んで新年の御慶びを申し上げます。

大阪・関西万博を振り返って

昨年2025年、「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマに大阪・関西万博が開催され、国内外から累計2,900万人の方々に御来場いただき大きな成功をおさめることができました。皆様の御協力に感謝申し上げます。ありがとうございました。

万博の成功は、観光・宿泊・交通など地域経済に幅広い波及効果をもたらただけでなく、関西の中小企業やスタートアップの技術発信、地域産業の魅力発信、そして会場内外で頻繁に繰り上げられた海外とのビジネス交流により、国際的なビジネスネットワークの構築にもつながりました。この成果を一過性のものにせず、地域産業の持続的な成長や国際展開に結び付けることが重要です。

国内経済の現状と経済対策

我が国経済に目を向けると、「デフレ・コストカット型経済」からその先にある新たな「成長型経済」に移行する段階まで来ており、まさに今、再びデフレに後戻りしない「成長型経済」に移行できるかどうかの分岐点にあります。他方、世界経済の不透明感や物価高の影響により、地方や中小企業において景気回復の実感はまだ十分ではありません。

昨年11月、政府は「強い経済」を実現する総合経済対策」を定め、大胆かつ戦略的な「危機管理投資」と「成長投資」を進め、「暮らしの安全・安心」を確保するとともに、雇用と所得を増やし、潜在成長率を上げる方針を示しました。

近畿経済産業局でもこの方針を踏まえ、中小企業の稼ぐ力強化や省力化投資支援、経済安全保障の強化、米国関税措置への対応等、経済対策に盛り込まれた支援策の普及に努め、地域の強みを最大限に活かした施策を推進してまいります。

賃上げ環境の整備

物価高対策としては物価上昇を上回る賃上げが必要ですが、それを事業者にも丸投げしてしまうのではなく、継続的に賃上げできる環境を整えることが政府の役割です。

本年1月1日に、「下請代金支払遅延等防止法（下請法）」は「中小受託取引適正化法（取適法）」に、「下請中小企業振興法」は「受託中小企業振興法」に改正されて施行されました。これらは、発注者・受注者の対等な関係に基づき、事業者間における価格転嫁及び取引の適正化を図ることを目的とするものです。

中小企業をはじめとする事業者が各々賃上げの原資を確保するためには、サプライチェーン全体で適切な価格転嫁を定着させる「構造的な価格転嫁」の実現を図っていくことが重要です。改正法では、協議に応じない一方的な代金決定の禁止や手形払等の禁止など、価格転嫁を阻害し受注者に負担を押しつける商慣習が規制され、取引の適正化が一層求められます。

近畿経済産業局としても、企業の皆様とともに、価格転嫁の円滑化と賃上げの実現に取り組んでまいります。

成長戦略と関西のポテンシャル

昨年11月に設置された「日本成長戦略本部」では、17の重点分野に官民連携で戦略的投資を集中し、我が国経済の成長を実現する方針が示されました。また、同じく昨年11月に「地域未来戦略本部」が設置され、地域ごとに産業クラスターを形成し、世界をリードする技術・ビジネスを創出することとされています。

関西は、高度な技術を有する企業や大学・研究機関の集積があり、これらを活かした成長のポテンシャルを秘めています。

大阪・関西万博では未来社会を支える数多くの革新的な技術が披露されました。ポスト万博においては、これらの技術やビジネスモデルを関西に実装し、持続的な成長の原動力とすることが重要です。水素エネルギーやバイオものづくり、次世代空モビリティ、デジタル技術等の社会実装や、スタートアップの振興を進めることで、関西経済はさらなる飛躍を遂げることが期待されます。

近畿経済産業局では自治体や経済界とも連携しながら、ポスト万博の取組を推進してまいります。

結びに、あらためまして経済産業行政への御理解と御協力をお願いするとともに、皆様の御多幸と御健勝を祈念いたしまして、新年の御挨拶といたします。



令和8(2026)年 年頭所感

大阪府知事 吉村 洋文



新年を迎え、謹んで年頭のご挨拶を申し上げます。

昨年は、皆様のご支援・ご協力を得て、大阪・関西万博を成功裏に開催することができました。国内外の2,900万人を超える来場者が「いのち輝く未来社会」を体感し、会場では連日、子どもたちをはじめ多くの皆様の笑顔と感動があふれました。また、万博にあわせ、各国との文化・外交・ビジネス分野での交流も大きく進展し、関連投資や来阪旅行者による需要拡大が大阪経済に大きなインパクトをもたらすなど、様々な成果を得ることができました。

今年は、こうした成果を糧に、開催地・大阪として、世界に伍する経済力・都市力と唯一無二の魅力を持つ「副首都・大阪」の早期実現に向け、全力を傾けてまいります。大阪がめざす「副首都」とは、非常時に首都機能のバックアップを担う、単なる「代替エリア」ではありません。東京とは異なる個性、新たな価値を創造・発信し、世界の中で確かな存在感を発揮する。そして、卓越した経済的ポテンシャルで、首都と並び、わが国の成長を力強くけん引する。そのような都市であるべきです。東京一極集中の経済構造を打破し、複数の都市が輝き、日本の成長を支える「多極分散型」の国の形へ。大阪が先陣を切ってまいります。

その大きな目標に向かい、まずは、大阪の経済成長をさらに加速させます。

万博を機に芽吹いた「未来社会」を彷彿とさせる新技術を社会に根付かせ、府民の皆様の豊かなくらしと、大阪経済をけん引する成長産業の創出につなげます。万博では、ライフサイエンスやカーボンニュートラルなど、様々な分野の革新的技術が披露されました。国や経済界等と連携し、こうした技術の実装化・産業化を後押しするための仕組みを構築します。さらに、国際的なスタートアップイベントや、ライフサイエンス・ヘルスケア分野の国際会議を大阪で開催し、新たなビジネスチャンスやイノベーションの創出につなげていきます。

万博では、安全・安心を第一に、南海トラフ巨大地震をはじめとする自然災害やテロなど、起こり得るあらゆる事態を想定し対策を講じました。副首都の実現に向けても、その土台となる、命と財産を守る取組が重要です。

近年、頻発化・激甚化する自然災害に備え、三大水門の更新や密集市街地対策などを着実に進め、災害対応力を強化するとともに、全国で顕在化しているインフラの老朽化対策にもしっかりと取り組みます。また、新たな感染症の発生を想定した大学・研究機関との連携体制を整備します。副首都の機能を強化する上で、成長の拠点となるまちづくりが重要です。これまで大阪の成長・発展を支えてきたキタ・ミナミといった南北軸に加え、「夢洲」や「大阪城東部地区」を含む東西軸の新たなまちづくりを進めます。

夢洲では、皆様に愛された「大屋根リング」や「大阪ヘルスケアパビリオン」の一部利活用に向けた検討を重ねるとともに、IRを核とした国際観光拠点として整備を進めます。

大阪城東部地区では、昨年9月に森之宮キャンパスを開設した大阪公立大学を先導役に、多世代・多様な人々が集い、交流するまちづくりに取り組みます。あわせて、なにわ筋線や大阪モノレール、淀川左岸線といった鉄道・道路ネットワークの充実強化など、成長を支える都市基盤の整備を着実に進めていきます。

大阪の魅力を世界に向けて輝かせるため、大阪の個性を活かした世界水準のエンターテインメントを創出するとともに、食や歴史、文化、スポーツ等の強みや観光資源を磨き上げます。あわせて、オーバーツーリズム対策を含め増加する来阪旅行者の受入環境の整備を進めるなど、都市としてのプレゼンスを一層向上させます。

成長の原動力となるのは何よりも「人」の力です。次代を担う子どもたちへの投資として取り組んできた、高校や大阪公立大学等の授業料等の完全無償化が、いよいよ全学年で実現します。学校選択の幅が広がる中、公私の切磋琢磨を促し、大阪全体の教育レベルを引き上げなければなりません。全府立高校での海外姉妹校提携・短期留学の実現など英語教育のさらなる充実や、実業高校におけるIT、ビジネスといった専門人材の育成など、府立高校の魅力化・特色化を進めます。

こうした取組に加え、現下の課題である物価高騰について、国・市町村と連携し、スピード感をもって対策を講じます。子育て世帯への食費支援等を速やかに実施するとともに、その他必要な支援策を検討していきます。

また、被害が深刻化している特殊詐欺への対策や、超高齢社会に対応するための認知症施策など、府民の皆様のくらしを守る取組に加え、児童虐待やヤングケアラーへの対応など、子どもたちの健やかな成長を支える環境を充実させます。

あわせて、住民に最も身近な基礎自治体が、人口減少局面にあっても、将来にわたって行政サービスを安定的に提供できるよう、その機能の充実・強化に取り組みます。

「副首都・大阪」の実現に向け大きな一歩を踏み出し、豊かなくらしや安全・安心、ウェルビーイングの向上につなげていく。大阪の飛躍に向けた新たなフェーズに果敢に挑んでまいります。

本年も、府民の皆様のより一層のご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げますとともに、皆様にとって素晴らしい年となりますようお祈りいたします。

第3回運営委員会

2026



11月19日（木）議題は以下のとおりです。

- (1) 新年交流会について：1月14日（水）buffet形式で行う
- (2) OSAKA-MONO.netサイト閉鎖について：令和7年12月31日（水）をもって、12年間サイトを運営していましたが、契約を終了しました。（12月1日付けでメール等にて連絡しております）
- (3) 起業啓発セミナー&事務局長会議：令和8年2月26日（木）
- (4) その他

もの協セミナー&事務局長会議

・開催日：令和7年2月26日（木） 14:00~17:00

・場所：マドームおおさか *申し込み、チラシについては後日 メール等で連絡いたします。

令和8年経済センサス-活動調査が実施されます！

この調査は、5年に一度すべての事業所・企業を対象とする調査です。4月から順次調査書類が届きますので、ご回答ください。

キャンペーンサイトはこちら⇒



新年交流会 1月14日（水）

・日時：令和8年1月14日（水）17時から

・場 所：NEW OSAKA HOTEL

・会費 12,000円

今からでも間に合います！！ 是非、ご参加下さい。



事務局より

今年もよろしくお願いします。

旧年中は格別のご高配を賜り、誠にありがとうございました。
(丙午のエネルギーを活かし、より一層の努力を重ねてまいります。)

昨年は、大阪関西万博があり、積極的に参加し、コンプリートを目指しましたが、予約が取れず届きませんでした。
半分以上は見られたので満足しています。

12月には友達と「アフター万博&忘年会」と称し、でスペインレストラン監修のお店でランチ・旧万博「太陽の塔」の見学に行ってきました。

「新年交流会」でお会いできることを楽しみにしております。